

	12月1日現在	前月比
男	13,732	+ 11
女	14,117	+ 5
計	27,849	+ 16
世帯数	5,951	+ 5



若人総ぐるみで  
初の青年のつどい

数年来の農業人口の減少にともない、他産業で働く若者も増大し、それまで農業青年によって主流をなした青年団体も、いくつかのサークルにわかれて育った。そうした青年同志の交流の場「若人の世界」を求めて、初の若人総ぐるみの祭典「青年のつどい」が開催された。関連記事7ページ（写真は多彩な催しものの一コマもちつき）

# 合併20周年を迎える

## 柿岡中学校で 盛大に記念式典

### 大槻忠夫氏（元町長）ら

### 自治功労者など45名表彰

八郷町合併二〇周年記念式典が、去る十一月二十三日、柿岡中学校体育館で盛大に開催されました。

式典には、地元選出国會議員

隣接市町村長をはじめ、町内各種団体長、区長など五五七名が招待され、大槻忠夫元町長など永年町発展のために功績のあった四五名に表彰状と記念品が贈られました。

なお、町では二〇周年を記念

し、町のようすを盛り込んだ町勢要覧と記念品の灰皿を町内各戸に贈呈いたしました。

### △表彰者▽

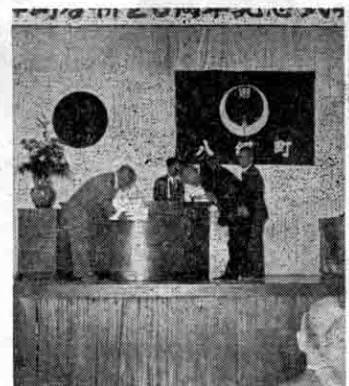
#### 【自治功労者】

- ▽大槻忠夫（元町長）▽吉田次郎（前町長）▽刈部義延（元芦穂村長）▽鈴木守之輔（元林村長）▽関英幸（元小桜村長）▽原田孟（町議會議員）▽田中拙（町議會議員）▽馬立林蔵（前町議會議員）▽青木茂夫（元町議會議員）▽藤代遠（地方自治功労）▽鈴木猛（永年勤続区長）▽土佐藤吉（同）▽中田温英（同）▽渡辺明（永年勤続退職区長）▽込山幸一（同）▽石田隼市郎（同）▽藤岡孝夫（同）▽岡崎喜福（同）▽加藤茂（永年勤続退職職員）▽富田光一（同）▽永山雅美（同）▽吉川正（同）▽石田

### 式辞をのべる 関野町長

- ▽道夫（同）▽大関重男（同）▽久保田照茂（永年勤続職員）▽久保田善広（同）▽根本俊（同）▽赤羽根実（同）▽菱沼克己（同）▽桜井佳三（同）▽吉田信行（同）

- 【民生福祉功労者】
- ▽菊地四郎（社会福祉に一、二〇〇万円寄付）▽榎本康教（社



表彰をうける大槻初代町長

会福祉に一、〇〇〇万円寄付）▽菊地方之助（老人クラブ連合会長）

#### 【産業功労者】

- ▽原田伝左エ門（町農業委員）▽平忠（元町農業委員）▽野村透一（同）▽齋藤二男（同）▽滑川好道（同）▽友部三男（永年農協協長）▽市塚大喜（永年農協役員）▽岡崎格之輔（永年農協協長）

#### 【その他の功労者】

- ▽江畑一夫（永年学校医）▽滝田源三郎（同）▽吉川元一（同）▽大塚利善（交通安全協会役員）

### 八郷町20年のあゆみ

- 〔昭和30年〕
- ▽1月、旧一町七カ村が合併、八郷町が誕生
- ▽11月、小桜第二小学校完成
- ▽12月、第一回八郷町議會議員一般選挙が行われる
- 〔31年〕
- ▽4月、国保制度が全町実施
- 〔32年〕
- ▽2月、県立高等学校誘致運動が実を結び、石岡一高八郷分校設置が決定同4月に開校
- 〔33年〕
- ▽12月、町営有線放送開通。恋瀬川改修工事着工。統合小幡小学校が完成
- 〔34年〕
- ▽3月、柿岡・小幡線町道完成
- 〔35年〕
- ▽4月、県立石岡一高八郷分校を県に全面移管
- ▽9月、役場庁舎が完成
- 〔36年〕
- ▽4月、旧役場七支所を廃止、恋瀬、園部に「出張所」を設置

昭和三十年一月一日、町村合併促進法に基づき、一町七カ村が合併して八郷町が誕生し、これとして二〇年を迎えました。その間、本町が大過なく今日の隆盛を見る事ができましたことは、ひとえに郷土愛に満ちた町民の皆様のご支援助、ご協力によるものと、深く感謝申し上げます。

## 合併二〇周年にあたって

町長 関野信平

さて、町政のあゆみをふりかえりますと、合併早々に新農村建設事業に取り組み、その後初代町長大槻忠夫氏の英断による高等学校の誘致をはじめ統合中学校の建設など一連の文教施設

このように、行政分野における懸案事業の推進につきまして、皆様のご協力によりその実現を見ることができました。さらに、これからの激動する情勢に対処すべく、現在新しい町の総合計画を立案中であり、



私といたしましても皆様の付託にこたえるために、本町の進むべき道をしっかりと見きわめ、それらの事業をしめくり、発展させることこそ責務と存じます。  
全町民一丸となって新たな

山根一町七カ村が合併し、八郷町が誕生して早や二〇年、町民の皆さんと共に心からお祝いを申し上げます。

言います。八郷町もちょうど成人に達したわけです。世はまさに激動の時代。「はたち」の八郷町に課せられた今後の課題は実にきびしいものがあります。周辺より押し寄せる都市化の波

## 合併二〇周年を祝して

町議会議長 原田 孟



ております。前途誠に多事多難といわざるを得ません。要は町民全部が一丸となって真剣に将来を考え、町造りを進める大事な時期ではなからうかと思ひます。

土木、産業、福祉等行政各般にわたり、諸々の施策が進められこれが実施にうつされて参りました。おかげをもちまして本町も大きく成長し、今日の発展した姿を見るわけでございます。人は二〇歳で成人に達したと

をどの様に処理するか、世の中が進むにつれて年毎に増大する住民の行政に対する要望をどの様にして満足させるか、これら事業遂行のため必要な財源の確保等、数多くの難問題が山積し

以上私の感ずるまゝを申し上げ、更に町民各位の町造りに対する温いご協力に対し、深甚なる敬意と感謝を捧げまして私のごあいさつと致します。

▽5月、有線放送電話施設が全町に接続  
〔37年〕

▽5月、八郷町老人大学開講  
▽7月、芦穂統合小が完成  
〔38年〕

▽2月、西光院林道工事着工  
〔39年〕

▽3月、町営住宅完成  
▽4月、老人福祉センター完成  
▽8月、統合南中学校完成  
▽9月、町議選の小選挙区制を廃止  
〔40年〕

▽1月、一本杉林道完成  
〔41年〕

▽2月、旧町村の七農協合併、八郷町農業協同組合発足  
▽5月、統合柿岡中学校第一期工事完成  
〔42年〕

▽8月、柿岡地区簡易水道給水開始  
〔43年〕

▽5月、有明中学校第一期工事完成  
〔44年〕

▽10月、小桜保育所開設  
〔42年〕

▽10月、林保育所開設  
〔43年〕

▽2月、下青柳が田園都市モデル集落に指定される  
〔44年〕

▽10月、芦穂、瓦合保育所開設  
〔44年〕

▽2月、給食センター完成  
▽3月、柿岡中、南中に体育館が完成  
〔44年〕

▽9月、柿岡中プール完成  
▽10月、恋瀬、園部保育所開設  
〔44年〕

▽1月、八郷町観光協会が発足  
▽2月、湯袋観光道路舗装完了  
▽8月、南・有明の両中学校にプール完成  
〔45年〕

▽10月、小幡保育所開設  
▽12月、八郷町誌発行  
〔46年〕

▽1月、園部中体育館完成  
▽5月、恋瀬川サイクリング専用道路完成  
〔46年〕

▽7月、園部中プール完成  
▽8月、下青柳田園都市センター完成  
〔47年〕

▽12月、第一回産業文化祭開催  
〔47年〕

▽4月、峰寺山観光道路第一期工事完成  
〔47年〕

▽6月、自然休養村指定を受ける  
▽12月、ゴミ収集車による収集事業がスタート  
〔48年〕

▽3月、峰寺山西光院本堂修復工事終了。光安寺橋完成  
〔48年〕

▽4月、救急車を購入  
▽7月、自然休養村センター完成  
〔49年〕

▽9月、統合柿岡小学校完成  
〔49年〕

▽3月、柿岡団体営農道が完成  
▽4月、町産業文化事業団発足  
〔49年〕

柿岡保育所が新築移転  
▽7月、国民宿舎「つくばね」完成。大増地区簡易水道完成  
〔49年〕

▽8月、小幡小と芦穂小にプール完成  
〔49年〕

▽11月、合併20周年記念式典  
〔49年〕

## 産業文化祭ひらく

農産物ドッサリ七〇〇点

あらたに「のど自慢」も登場

一段と盛り上げる

第四回八郷町産業文化祭が、去る十一月十六日から十八日の三日間、八郷公民館ほか八会場

盛大に開催されました。今年も特に週末と重な

った十六・十七の両日には、各会場ともたくさん

の見物人が訪れるなど閉会式の十八日まで、連日にぎやかなふんい気に包まれていました。

町の産業と文化の発展を祝いこの産業文化祭が開催されて、今年ですでに四年目をむかえますが、催し物も乳牛種豚共進会

をはじめ菊花展、いけばな展、書道、絵画展から柔剣道会、俳句、朗吟会にいたるまで盛りだくさんの行事が組まれ、なかで

商店街ではあやめ踊りや怪獣のパレードがあり、産業文化祭になお一層の花をそえていました。

は次のとおりです。■農林産物品評会

柿の部 渡辺順弘(小幡) みかんの部 藤岡しま(互会) 野菜の部 中野谷昭雄(金指) 穀類の部 長谷川喜一(真家) しいたけの部 浅野孝男(中戸) しめじの部

も農林産物品評会は、出品点数が七〇〇点を数えるなど産業文化祭にふさわしい豪華なものとなりました。また、今回初めて行われた素人のど自慢大会、農産物福引大会、牛乳の無料サービスは会場が黒山の人だかりがで、特にのど自慢大会は花束の贈呈があるほどの盛況ぶりを見せていました。

■乳牛種豚共進会  
乳牛・未経産の部 田村和男(加生野) 同妊娠牛の部 飯田真一(小幡) 同経産牛の部 鈴木勝美(太田) 種豚・未経産の部 足立修身(川又) 同経産の部 津布久恒治(柿岡) 同若雄成雄の部 津布久恒治(柿岡)

鈴木勇(加良寿理) 柘植利昭(小見) 菊花の部 館藤一(根小屋) 永瀬利男(宇治会) 山中勝三(片野) 養蚕・春蚕の部 横浜長一郎(片野) 桜井幸(上曾) 関三郎(細谷) 友常梅男(月岡) 小沢弘(高蒲沢) 夏蚕の部 飯島邦男(柴内) 中島義光(東成井)

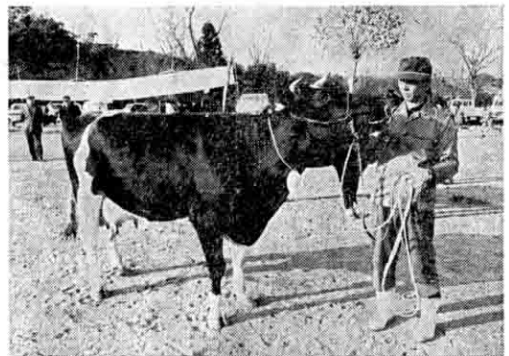


盛況だった素人のど自慢大会

そのほか、柿岡



出品点数700点を数えた農林産物品評会



経産牛の部で優勝をさらった鈴木勝美さんの牛



牛乳の無料サービスはすこぶる好評

# 山積みする問題を痛感

## 農委の優良農家視察

去る十一月十四日、町農委委員五名による町内優良農家五戸の視察が行われました。近年、当町もほかにみれずして、基幹産業である農業は年々衰退の傾向をたどり、農業収入だけで生計をささえている専業農家は、全農家のわずか一五パーセント、六五〇戸程度に減少しつつあります。

これは、わが町のみならず全国的傾向であり、このような



川又、松崎唯夫さんのハウスを視察する農委一行

が国農業衰退のなかでいま世界的にさわがれている食糧危機に対処し、いかに主要食糧の自給率向上をはかるかは、国・市町村段階でも特に重要な問題となっています。

このたびの優良農家視察は、この農業危機打開にとり組むため、農家のみならずのナマの声を聞き、今後の農政に少しでも反映させようと実施されたものです。

なお農業委員会では、この結果、後継者育成対策、畜産飼料の自給対策、農業生産物の流通と価格の問題、資材の値上りと園芸作物の価格の問題、農業基盤整備と大型農業機械の協同利用による効率的農業の推進など、いくつかの問題点を指摘し、今後は農業者の意見を要望してこの現状を国・県へ強くうたえようと、八郷町の農政

に強く反映させるようねばり強い努力を続ける必要があるとして、農業危機打開に積極的にとり組む方針を明らかにしました

## 23名に表彰状

### 町統計大会

第二回八郷町統計大会が、去る十月二十二日、群馬県猿ヶ京温泉で町統計調査員七八名の出席のもとに盛大に開催されました。

なお、大会では、統計調査員として永年貢献してくれた人たち二三名に表彰状と記念品が送られました。

表彰を受けた人たちは次のとおりです。

- 統計協会総裁表彰
  - 小松崎森司(小幡) 路川功(猪内) 相田喜雄(小見)
- 町長表彰
  - 大久保茂(柿岡) 大塚春雄(柿岡) 関茂雄(片野) 鈴木豊(小幡) 高橋信一(下青柳) 寺田光(小幡) 吉沢盈(小屋) 中島正美(小倉) 来栖国勝(中戸) 友部正一(大塚) 市村隆一(宇治念) 真家信雄(宮ヶ崎) 鈴木和雄(山崎) 宮守正(真家) 鈴木栄次郎(下林) 島田和夫(嘉良寿理) 大木巖(片岡) 佐藤征男(下林) 関文吾(半田) 関喜之(半田)



従来から選挙は、地盤・看板・カバンによって決定されるといわれてきたが、今日でもその跡を絶っていないようである。

この「三ばん」は互いに密接に関係し合っており、そのいずれもが選挙人の自主的、合理的判断を何らかの形でゆがめめる作用を行っている。

なかでも、選挙に投入される資金を意味するカバンは、選挙に巨額の資金がかかるにつれ、選挙に対して暗い影を投げていることは深刻な問題を示しているといえよう。

## 選挙の話 (2)

ところが、このカバンに対する選挙人の考え方には、まだまだ甘いものがあり、そのことが選挙運動において依然としてカバンの地位を弱めない大きな理由になっていると思われる。

地盤が選挙における縄張り看板が肩書きやカオなどを意味し、カバンがカネのはたらきであるとするれば、これらによって左右される選挙は、い

わゆる情実選挙の域を出るものではない。

それは、近代的・合理的な民主的選挙とはまったく対立するものであって、情実選挙によって選出された代表者がどのような資質と能力をもつかは容易に推察することができよう。いうまでもなく、このような選挙の行われるかぎり、健全な民主政治が育つ余地は見出せないのである。

## カバンの魅力

もっとも、地盤についていえば、それが看板やカバンとは無関係に形成されることもある。すなわち、民主的な組織づくりによって固定票を得るようになる場合や、堅実な努力の結果選挙人の信頼をかちとって支持票獲得の勢力圏を確立する場合などである。

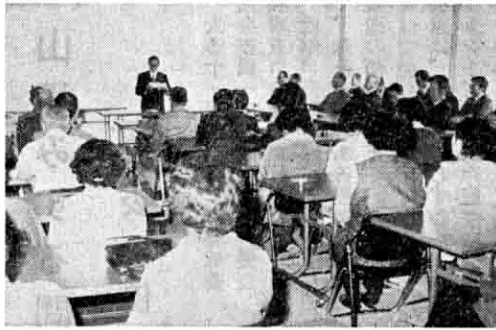
そのような地盤であれば、決して不合理でもなく、非民主的でもない。したがって、ここで「三ばん」の一つに数える地盤は、他の二ばんとの関連の上で成立するそれであることをとわっておきたい(財団法人公明選挙連盟発行「選挙の話」より)

# 吉生土地改良区で竣工式

## 省力化課題はこれから

吉生土地改良区（理事長田仲貞三郎）の竣工式が、去る十一月十六日、国民宿舎「つくばね」で行われました。

吉生土地改良区は昭和四十六年に設立され、吉生地区の水田約一八・七haのほ場整備を実施し、このほどその登記事務も終了、竣工式にいたったものです。町では昭和四十三年度から年次計画にそい、現在まで六三五haの水田ほ場整備事業を実施してきました。いうまでもなくほ場整備事業は省力化を目指すものです。しかし、町で機械等を



導入し、省力化を目指している地区はほんの一部にすぎません。近年の経済の高度成長は、農業と他産業の格差をあらゆる面で一段と引離してしまいました。これはいうまでもなく農政の立おくれと共に農民の意識不足からきているものです。

現在、農業は他産業と比較し収益性の点ではるかに劣っており、これを回復するためには、どうしても生産性の面で大改革を行わなければなりません。それには、まず第一に農業の生産基盤であるほ場の整備が不可欠の要件となります。第二に、整備後の土地の効率的利用が必要で、最近では、農外収入の増大から土地の効率的利用ということが忘れられているように思います。ほ場整備の目標は、単に事業を実施しただけでは達成したといえません。そのあとに機械化等を図り、生産性をあげて収益を得るにかかっています。省力化をいかに図るか……これがほ場整備地区の今後の大きな課題といえるでしょう。

吉生土地改良区がこれをいかに克服するか期待したい。

### 高校生が奉仕団体

#### 「ひばり」を結成

このほど、八郷町に在住する高校生二名によって、八郷町高校生会「ひばり」（会長前沢洋一）が結成されました。



この会は社会奉仕活動を通じ社会のために少しでも貢献しようとして結成された高校生による自発的奉仕団体です。

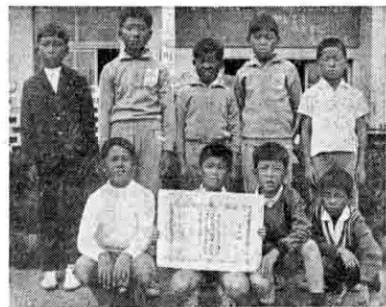
#### あかるく

かしく  
たくましく

#### 瓦会小に校訓碑

このほどの瓦会小学校の一〇〇周年を記念して、正門わきに大きな自然石の校訓碑が寄贈されました。

「あかるく、かしく、たくましく」と筆太にかかれたこの碑は、大字瓦谷の小河原正行氏が、子供たちにこんな子になってほしいとの願いをこめて建立されたものです。



#### ホテルの研究が金賞に

#### 小幡小生物クラブ

小幡小学校生物クラブ（松延教諭指導、クラブ員一〇名）による研究作品「ホテルの研究」が、理科研究作品展県南地区審査で金賞に入賞しました。

同クラブでは「ホテルを増やすにはどうしたらよいか」と昨年につづいて研究を重ねたもので、今年には「空中防除とホテルの発生との関係」「気温・水温とホテルの発生との関係」などについて研究されたものです。

指導を担当した松延先生は「子供たちにホテルの作る夜の競演を見せることができたうえ入賞までできて大変うれしい、夏休みの間合宿を重ねながら研究を重ねてきた子供たちの努力もこれでむくわれたことでしょう」と語っていました。写真は、下右からクラブ員の関君、中村君、羽生（宗）君、羽生君、上右から高橋君、木崎君、大橋君、高橋（治）君、田上君

#### ライオンズクラブが

#### 献血活動

去る十一月九日、八郷公民館においてライオンズクラブ（会長吉田広司）の主催による献血が行われました。

ライオンズクラブでは、また近く献血車を呼ぶというので、みなさんのご協力をお願いいたします。



# 若人のおりなす

## 人間賛歌

### 第1回 「青年のつどい」ひらく

去る十二月一日、自然休養村センターにおいて第一回青年のつどいが開催されました。

この青年のつどいは、町青年団、農業後継者連絡協議会、八郷4日クラブ連合、八郷スキークラブ、八郷農協青年部、たまごの会の共催で行われたもので

す。近年の経済の高度成長に伴ない、都会では人間疎外の風潮が生まれ、人間性回復ということが強く叫ばれていますが、この

ような現象はまた農村部においても同じで、人と人との交流は趣味

または職場を通してといったせまい範囲に限定されがちな傾向にあります。

このたびの青年のつどいは、若者がこのような趣味職場のグループといったせまい自分達の交流の場を脱皮し、広く新しい若者の交流の場を求めて開催されたものです。



ムードも最高、恋瀬青年による演劇

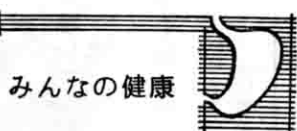
つどいは、各グループによる意見発表・演劇・コーラス・お茶会・収穫祭・映写会・一日レストランなど盛りたくさんの催し物がくまれ、会場は若者の祭典にふさわしく活気に満ちあふれたふんい気でいっぱいにつつまれていました。

「青年のつどい」来年もまた、一人でも多くの若者が参加し、同じ世代が何を考え、そしてまた何を求めている



モツの煮込みを食べながら語らいのひととき

るか語り合い、若者らしく夢と希望にあふれた次の新しい時代の建設に第一歩を踏み出してほしいと思います。



### みんなの健康

#### 3 歳 児 (1) 特 徴

三歳児はまがり角。「三つ子抜の魂百までも」と、この時期のい方によっては、将来の人格形成に大きな影響を与えると言う体や心の基礎の出来る大切な時期です。

#### 心の特徴

○反抗期……善悪についてはまだわからず、自分の主張を通して我を張る傾向がはっきりします。自分の主張を抑えられたり、禁止されたりすると猛烈な反抗をします。

○情緒……「今泣いたカラスがもう笑った」と言う調子のめまぐるしい情緒の変化がみられます。しつと心もはげしい形であらわれ、弟や妹に対して攻撃もざかんです。

○チエ……言葉で自分の要求や考え方を他人に伝えることができ、うたも上手にまねします。工夫する力も一段と発達して時には親をびっくりさせることもあります。記憶力も永久記憶と言われる何年後も覚えていける能力が身につきますからうっかりしたことを言ったりしたりできません。

○考え方の特徴……三歳児のもの考え方自己中心적입니다。それも何んでも具体的にしか考えられません。例えば「何々に注意しないネ」と言われても、注意と言う意味がわかりませんからその注意は注意になりません。記憶力もすばらしいものですが、これも親の願っていることは覚えてくれずに「何々買ってやる」と言ったことは忘れない自己中心적입니다。また嬉しかったこと、こわかったことなど情

緒と動きが結びついたことはよく覚えていきます。

○ものの見方の特徴……形の違いや大小はわかりますが見方は幼くて、絵などでもよくみられますが、頭から手足が出てても平気です。しかし四歳になると、そのおかしさがわかります。

#### 身体面での特徴

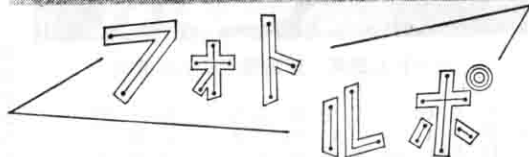
○スマートに見える年令……二歳児ごろの五等身時代よりももっと大人のつり合いに近いスマートさになります。体重も生れた時の四倍、脳の重さも成人の八〇パーセント位まで急速に発達します。

○ムシ歯のふえる年令……二歳児頃は四七パーセントのムシ歯が三歳児で八七パーセント四歳児で九四パーセントもあり、ほとんど治療していないムシ歯王国の年令です。

○まだまだ熱を出す年令……病気に対する抗体をせっせと作っている年令なのでまだよく病気にかかりますが、発育に必要な栄養と育て方で体力をつけなければなりません。

#### 運動面での特徴

○器用さが発達する時期……両足でビョンビョンとびや三輪車をこぐ、階段を上ったりとび下りたり、またお箸も使える。マルや三角を描くなど、器用さの目立ってくる時期です。

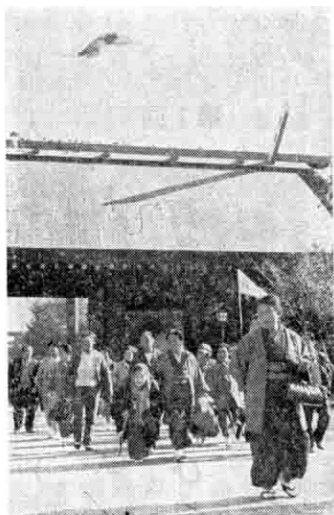


### なごやかに合同七五三

合同七五三祝いが、ことしも11月15日各地区で、にぎやかに実施された。この行事、節約ムードもあってちよっぴり見直されてきた。(写真は芦穂地区)

### 靖国の英霊と対面

2年に1度の靖国神社参拝が、11月12・13の両日にわたり実施、八五七名の遺族が上京、英霊と対面した



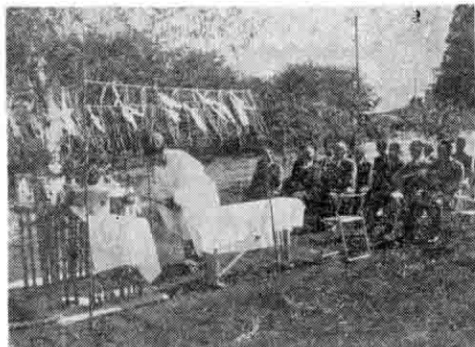
### 老いも若きも健康づくり

11月24日、柿岡公民館主催で歩く会が行われた(参加200人、コースは柿岡・湯袋・十三塚)

去る11月15日、上曾地区簡易水道新設工事の起工式が行われました。

工事は2年継続で行われ、51年3月未給水開始の予定です。(給水区域、大字上曾、小屋、小山田、鯨岡地区、総工費、一三、七五〇万円)

### 上曾地区にも水道が



## 婦人民生委員の特性を生かした活動はどうあるべきか

民生委員 大木フサ

民生委員は、要保護世帯の世話役であるとしか認識してない人々が、相対しているのではないだろうか。地域の福祉問題が多様化し、複雑化すれば必然的に民生委員の分野も広がり、実践課題も複雑化することが考えられます。(略)自ら地域住民の一員であることを認識し、住民から、ささえられる活動であることが地域に根を下した、福祉活動であり、期待される婦人民生委員の責務ではないでしょうか。(略)婦人委員の利点について考えて見ると、「丈夫な子供を育てる母親運動」や「妊娠婦の保健と、生活実態調査」また「老人福祉」「母子福祉」問題等の一助は婦人委員の活動によって、一層その効果が期待されると思います。

婦人民生委員の特性であるきめ細かさは、子供会活動など、地域組織育成への参加、溜り場危険場所等のチェック等々、活動方法も男子委員とはちがってくるのではないのでしょうか。

現在人間の集団社会に、何か欠けているように思います。つまり人々は自分自身の、利害関係のみ優先に考え、大切なものを失いかけていっているように思います。公害も、交通禍も自然破壊も物価高もこの人間に欠けているものに、一層拍車をかけるような気がしてならないと思います。また人間の社会生活を明るくたくしく、しあわせなものにしていく根源は、隣人との疎通であり、相互の深い信頼感であるのではないのでしょうか。この様なふんい気作りには、やはり婦人民生委員のもつ特性を生かすべきではないでしょうか。

消費生活の面においても、母子保健の実態把握についても、専門医、保健所、保健婦等各機関のパイプ役としても、きめ細さが必要でしょう。私は今日も、明日も任期の残っている限り、私たち先輩から受けついでバトンを更に後輩へ手渡しし、目となり耳となり足となつて、特性を生かした婦人民生委員として活躍したいと存じます。

○これは去る九月二十四日、大子町奥久慈ホテルで開催された市町村婦人民生委員代表者研究協議会で、当町大字根小屋の民生委員大木ふささんの発表した論文を掲載したものです。



# スクールゾーン

ぼくたちの学校、ぼくたちの北のはしにある、生徒数八二名の小さな学校です。春から夏にかけては、こい緑で、秋になると美しい紅葉の見える加波山、吾国山に囲まれていて、とても静かです。

十一月には、図工科研究会があって、各学年ともよい成果をあげています。また、運動会も盛んで、マラソン大会や、なわとび大会などを行って、体力をつけるようにしています。

ぼくたちの大増小学校は、八郷町の北のはしにある、生徒数八二名の小さな学校です。春から夏にかけては、こい緑で、秋になると美しい紅葉の見える加波山、吾国山に囲まれていて、とても静かです。

## ぼくたちの学校

大増小六年

宮 城 慎



## 公民館の新しい図書 (3)

書 名	著 者 名
道館への栄影	藤原審爾
牙光道敷	山本昌英
新屋	佐野木寛
イカス宴	五木上真彦
地に人(上)祭	三神洋次
行くとく	石井上
横丁のひとり	堀田義衛
公開の女性	シルベール・セブロン
わたしのなかのかれへ	倉橋由美子
妻とよばれるための二十八章	草柳大作
私の提言	池田大一寿子
愛すれど愛は悲し	有田俱昭如之
論	野坂木俊男
夏一五四年	金子良多
あれ強く	平良多
吉川英治氏におそわったこと	扇谷正造
日本人は中国で何をしたか	平岡正明
女性は女を知っていた	リック・レイモンド
ケリマンジェロの麓に	安岡章太郎
金色のアザラシ	お熱い殺人
開かれた小さな扉	親との別れ
ラプマシーン(II)	一九一四年八月(上)
雄気堂々(上)	雄気堂々(下)
女の樹	黒岩重吾

# 話のひろば

日本の社会には、新年を迎えるに親戚お互に年始のごあいさつに歩く習慣があった。勤めている人などは、日曜ごとに歩いても一か月だけでは廻りきれないほどだった。戦後、生活改善の立場からかそのようなことはやめてしまったようだ。それでも、年賀状として、お互いに健康で新年を迎えたことを知らせあい、ごきげんうかがいをすることは残されている。これはよいことだと思ふ。

ある人は虚礼廃止だという。虚礼ならば廃した方がよいことは当然だ。虚礼でない年賀状をやりたいと思う。友情溢れる友のたよりをうけて励まされ元気づけられる人もあろう。或は、

とは、人間であるためのせめてもの道であると思う。それさえ意味なしとするならば、人生が味気ない機械的なものとなってくるように思う。

機械を使うのだということである。私のいたたく年賀状には、毛筆のすばらしいもの、きれいな創作版画、りっぱな絵、大きく二文字だけのもの、小さい字では

## 年賀状

教育研究会長 滝田宣弘



お互いの意見の交流をするチャンスとすることもできよう。親戚を訪ねてゆっくり話しあう間のない日々の生活であれば、せめて新年を迎え心を新たにしてい

人間がもしコンピューターに変わらなければならぬようなときには、即刻コンセントからコードをぬぎとれ」といわれた尊いことは忘れまい。つまりどんなときにも人間が主であって

面影を思い浮かべ感謝しているものと同僚で別れてから四十年近く会う機会もなくすぎているが、毎年賀状で旧交を温めている人もある。私はいつまでも続けたいと思っている。



## 農業改良資金を

もっと利用しましょう

### ○技術導入資金

農業技術の修得資金で、個人やグループなどを対象に無利子で借受けができます。主な資金の種類は、動力刈取機、田植機、育苗機、乾燥機、生乳品質改善、家畜排せつ物処理技術改善、施設園芸総合技術導入などです。

### ○生活改善資金

家事労働の合理化のため居間、台所、住居などの改善資金として一戸当り五〇万限度に無利子で借りられます。※これらの資金を利用する場合は50年1月末日までに役場または農協にお申込みください

### ○農業後継者資金

次の条件にあてはまる後継者一人当り一五〇万限度で融資をしてくれます。  
 (1) 農業後継者で年令一八歳から二九歳の者  
 (2) 借受者自ら部門経営

## 高齢者で働きたい人に

### 無料職業紹介所開設

高齢者でも働きたい人のために無料職業紹介所が開設されています。ご希望の方は左記の方、茨城県高齢者無料職業紹介所に直接お申込み

ください。

○参考職種 雑役、事務、家事手伝、守衛、店員など

○受付日および時間

月曜～金曜日は午前九時～午後四時まで、土曜日は午前九時～午前十一時

○場所 水戸市千波町後川七四

五、県立福祉センター内(県民文化センターとなり)茨城県高齢者無料職業紹介所、電話〇二九二の四一の七六三七

## 進学する方に

### 毎日奨学生受付中

大学、短大、各種学校に進学を希望する学生のために、毎日新聞社、毎日育英会による毎日奨学制度が設けられていますがいまこの昭和五十年年度生の受付が行われています。この育英制度は、学資、食費、住居など一切を育英会でお世話する制度で、かわりに朝・夕刊の新聞配達をすることが条件であり、卒業後に学資などの返済を必要としないうの特徴です。毎日奨学生制度についての詳細は、毎日新聞社早稲田別館内毎日育英会事務局(〒一六〇、東京都新宿区西大久保四の一七〇)、電話〇三の二〇九の一七一一)に直接ハガキでお申込みください。

## 50年度入校生募集

### 県立経営伝習農場

県立経営伝習農場では、いま昭和50年度の入校生募集をしています。

募集要項は次のとおりです。

○本科 受験資格 中学校卒業(見込みを含む) 願書受付

2月12日～25日 選考 学科

試験(国・数・作文)と面接

募集人員 男八〇名女二五名

○研究科 受験資格 高校卒業(見込みを含む) 願書受付

1月10日～30日 選考 作文と面接 募集人員 男一五名女一〇名

○経費 寮費・授業料不要、食費(月一万円)の他、実習着

身の廻り品購入費など月約一万二千元が自己負担

※詳細は改良普及所、または、経営伝習農場(東茨城県茨城町

長岡、電話〇二九二九(二)〇三四)へお問合せください。

## その一杯を

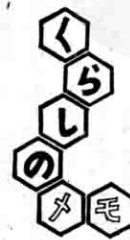
ことわる勇気が事故を断つ

飲酒運転追放県民運動実施中

郵便はがきを書き損じたり印刷を誤まったりすることはよくあることですが、あなたはこの書き損じはがきをどうしていますか。書き損じたはがきは、郵便局へお持ちください。郵便局では、わずかな手数料で新しいはがきと交換してくれます。手数料は、通常ははがき一枚につき二円、往復はがき一枚につき四円、外国郵便はがき一枚につき五円、航空書簡は一枚につき十円で交換してくれます。もちろん通常はがきのうち暑中見舞用その他特別に発行されたものも、またお年玉つき年賀はがきも含まれます。

## 12月の納税

固定資産税 第3期  
 国民健康保険税 第5期  
 国民年金保険料  
 10・11・12月分



どうしてですか

書き損じのハガキ